

国際ロータリー第2640地区

世界社会奉仕委員会 御中

2009年6月9日

和歌山中ロータリークラブ

国際奉仕委員会

2008-2009年度

世界社会奉仕(WCS)活動報告

地区ファンドにてご支援頂きました活動内容につき、下記の通りご報告申し上げます。

記

1. WCS 実施国：フィリピン共和国 サンペドロ市
2. パートナークラブ： 第3820地区サンペドロロータリークラブ
3. プロジェクト名： デイケアセンター保育園運営プロジェクト
4. 活動内容： サンペドロ市の貧困地区家庭の児童（3～5歳）を対象に教育及び給食サービスを提供する。当クラブとサンペドロロータリークラブが教材・机・椅子等教室を支援し、サンペドロ市福祉課がセンター教員を派遣する。  
1990-91年度WCSプロジェクトNo.3349として取組みを開始し前期まで6箇所のセンターを運営、今期第7箇所目のセンターをサンペドロ市ランガム地区で稼働させるべく取り組んだ。実施総金額は日本側¥150万。現地クラブの負担額約¥50万。
5. 現地訪問： 2009年2月19日～22日、当クラブ中井俊治会長他会員・家族計15名にて現地ランガム地区セントジョゼフ・デイケアセンターを訪問。児童数十名にノート、鉛筆を贈呈した。
6. 今後の計画について：  
今回の現地訪問時及びその前後、現地パートナークラブと数回にわたる意見交換を実施した。
  - ① 現地クラブは例年のクリスマスパーティーの開催、パソコンの寄贈、扇風機の寄贈等7箇所のセンター運営維持の為の負担が能力の限界に近づいている模様。
  - ② 一方、当クラブと現地パートナークラブは、デイケアセンター保育園運営プロジェクトと平行して、このプロジェクトによりこれまでに同センターを卒園した貧困家庭の子女を支援する「奨学金プロジェクト」を2005年以降立ち上げている。現在5名を支援している。この奨学金プロジェクトは単なる単独のプロジェクトではなく、デイケアセンタープロジェクトと密接に連動した仕組みとなっている為、奨学金を受給する学生のみならず、奨学生が卒園したデイケアセンターの園児や家族、そして地域コミュニティー全体に将来への夢を与えている。今後、現地パートナーと協力し、この「奨学金プロジェクト」を重点に推進していく計画である。

以上

(添付) 現地訪問写真